

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 暁学園

(2) 大学名

四日市看護医療大学

(3) 大学の位置

〒512-8045
三重県四日市市萱生町1200

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ムネムラ ナンオ) 宗村 南男 (昭和53年5月26日)		
学長	(コウノ ケイコ) 河野 啓子 (平成19年4月1日)		
副学長	(マルヤマ ヤスヒト) 丸山 康人 (平成19年4月1日)		
学科長	(ミヤザキ トクコ) 宮崎 徳子 (平成19年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	95人	3年次 10人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	95人	95人	95人	(5) 95人	1.11倍	
志願者数	465	578	429	(6) 504		
受験者数	453	566	428	(5) 499		
合格者数	247	210	183	(4) 188		
B 入学者数	143	99	98	(2) 104		
入学定員超過率 B/A	1.50	1.04	1.03	(0.4) 1.09		

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[] 143	[] 99	[] 98	[] 104	
2年次	/	[] 143	[] 112	[] 100	
3年次	/	/	[] 129	[] 108	
4年次	/	/	/	[] 128	
計	[] 143	[] 242	[] 339	[] 440	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [0人]	(累積)計 [143人]	[%] 0%
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 143人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [1人]	(累積)計 [242人]	[%] 0.4%
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 143人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 99人	
	(主な退学理由) 他大学入学のため		
平成21年度	計 [5人]	(累積)計 [340人]	[%] 1.5%
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 143人	
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 99人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 98人	
	(主な退学理由) 一身上の都合		
平成22年度	計 [0人]	(累積)計 [446人]	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 143人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 99人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 98人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 106人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<看護学部看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	人間文化	哲学	1前	2								<p>大西信行講師 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)</p> <p>東川薫准教授 平成21年1月教員審査済 判定可 (21)</p> <p>長江拓子准教授平成21年3月退職 高橋泰子教授、浅野妙子准教授 平成21年1月教員審査済 判定可 (21)</p> <p>高橋泰子教授 平成22年3月退職 (22)</p> <p>露木敏子教授、長江拓子准教授 平成21年3月退職 浅野妙子・岩本淳子・豊島泰子 准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21)</p> <p>高橋泰子教授、中島千里講師 平成21年1月教員審査済 判定可 (21)</p> <p>山田裕子講師 平成21年9月退職 (22)</p> <p>高橋泰子教授 平成22年3月退職 (22)</p> <p>草刈淳子教授、濱畑草子教授 大西信行講師 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)</p> <p>長江拓子准教授、長倉里加助教 平成21年3月退職 (21)</p> <p>浅野妙子准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21)</p> <p>高橋泰子教授、中島千里講師 平成21年1月教員審査済 判定可 (21)</p> <p>野口多恵子教授 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)</p> <p>高橋泰子教授 平成22年3月退職 (22)</p>
		倫理学	1後	2								
		心理学	1前	2								
		ジェンダー論	1後	2								
		人間関係論	1前	2			1		2	0		
	人間社会	法学	1前	2								
		経済学	1後	2								
		高齢社会論	1前	2				1				
		社会福祉論	1後	2				1				
		ボランティア論 (NPO論)	1後	2								
		地域政策論	1後	2			1					
		地方自治論	1前	2			1					
		リスクマネジメント	1後	2			0	1				
	語学	基礎英語	1前	2			1					
		英語コミュニケーション	1後	2			1					
	科学的思考	医療英語	2前	2			1					
		科学的思考論	1前	2								
		数的思考論	1後	2								
		生物	1前	2								
化学		1後	2									
情報科学概論		1前	2			1						
コンピュータリテラシーⅠ (基礎)		1前	2			1						
コンピュータリテラシーⅡ (応用)	1後	2			1							
演習	基礎セミナーⅠ (基礎)	1前	2			12	6	8				
	基礎セミナーⅡ (応用)	2前	2			11	6	8				
	小計 (25科目)	—	12	38		12	6	8	0	0		
専門基礎科目	社会科学	看護関係法規	1後	2			2					
		疫学・保健統計学	2前	2								
		保健福祉行政論	2後	2								
	健康科学	臨床病態学Ⅰ (消化器系、呼吸器系、循環器系)	2前	2								
		臨床病態学Ⅱ (脳神経系、感覚器系、運動器系)	2後	2								
		臨床病態学Ⅲ (内分泌・代謝系、造血器系、腎・泌尿器系)	2後	2								
		人体の構造と機能Ⅰ (ミクロ)	1前	2								
		人体の構造と機能Ⅱ (マクロ)	2前	2								
		栄養代謝学 (生化学)	1後	2								
		公衆衛生学	1後	2								
		感染と防御	2前	2			1					
		薬理学	2前	2			1					
		病理学	2後	2								
	小計 (13科目)	—	26			3	0	0	0	0		
専門科目	基礎領域	看護学概論	1前	2			1	1				
		看護基礎援助論Ⅰ (共通基本技術)	1前	2			1	2	2	2		
		看護基礎援助論Ⅱ (基本的日常生活援助技術)	1後	2			1	2	2	2		
		看護基礎援助論Ⅲ (診療に伴う技術)	2前	2			1	2	2	2		
		看護基礎援助論Ⅳ (対象に応じた技術・看護過程)	2後	2			1	2	2	2		
		基礎看護学実習Ⅰ (日常生活援助)	1後	1			1	2	2	2	4	
		基礎看護学実習Ⅱ (看護過程の展開)	2後	2			1	2	2	2	4	
			小計 (7科目)	—	13			1	1	2	2	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
生涯領域	成人看護学概論	2後	2			1	2	1	0		岩本淳子准教授、魚住郁子助教 平成20年8月教員審査済 判定可 (21) 浅野妙子准教授 平成21年1月教員審査済 判定可 (21)		
	成人看護学Ⅰ（急性期・回復期）	3前	2				2	0	±				
	成人看護学Ⅱ（慢性期・終末期）	3前	2			1	2	1	0				
	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	3後～4前	2			1	2	1	0	3		2	
	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3後～4前	2			1	2	1	0	2		2	
	成人看護学実習Ⅲ（回復期）	3後～4前	2			1	2	1	0	3		2	
	成人看護学実習Ⅳ（終末期）	3後～4前	2			1	2	1	0	2	2		
	老年看護学概論	2後	2			1		1				露木敏子教授平成21年3月退職 後任人事として内藤雅子教授を 平成21年6月教員申請予定 魚住郁子・佐藤光年助教 平成20年8月教員審査済 判定可 (21) 内藤雅子教授 平成21年8月教員審査済 判定可 (22)	
	老年看護学Ⅰ（健康な高齢者への看護）	3前	1			1		1					
	老年看護学Ⅱ（入院中の高齢者への看護）	3前	1			1		1					
	老年看護学実習Ⅰ（老人保健施設等）	3後～4前	2			1		1	2	0	2		4
	老年看護学実習Ⅱ（病院）	3後～4前	2			1		1	2	0	2		4
	小児看護学概論	2後	2			2	1					長倉里加助教平成21年3月退職 助手1名配置 (21)	
	小児看護学	3前	2			2	1						
	小児看護学実習Ⅰ（保育園）	3後～4前	1			2	1		0	±	1		
	小児看護学実習Ⅱ（病院）	3後～4前	1			2	1						
	母性看護学概論	2後	2			1	1	1	1				
	周産期看護学	3前	2			1	1	1	1				
	母性看護学実習	3後～4前	2			1	1	1	1				
助産学概論	3後		2		1	1	1	1					
助産診断技術学Ⅰ（妊娠期）	4前		2		1	1	1	1					
助産診断技術学Ⅱ（分娩・産褥期）	4前		2		1	1	1	1					
助産技術援助論	4前		2		1	1	1	1					
助産学実習	4通年		6		1	1	1	1			岡部充代助教 平成20年3月退職 (20) 豊島泰子准教授		
小計（24科目）	—	34		14	5	4	3	4	5	4			
専門科目	地域看護学概論	1前	2			2	1	0	2		山田裕子講師平成21年9月退職 栗原喜代子講師 平成22年1月教員審査済 判定可 (22) 豊島泰子准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21) 山田裕子講師平成21年9月退職 栗原喜代子講師 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)		
	産業看護学Ⅰ（総論）	1後	2			1		1	1				
	産業看護学Ⅱ（各論Ⅰ）	2前	2			1		1	1				
	産業看護学Ⅲ（各論Ⅱ）	3前	2			1		1	1				
	公衆衛生看護学Ⅰ（総論）	3前	2				1	0	1	0			
	公衆衛生看護学Ⅱ（各論）	3前	1				1	0	1	0			
	学校看護学	2後	1			1						岡部充代助教平成20年3月退職 (20) 露木敏子教授、長江拓子准教授、 長倉里加助教平成21年3月退職 (21) 浅野妙子・岩本淳子・豊島泰子 准教授、魚住郁子・佐藤光年 助教 平成20年8月教員審査済 判定可 (21) 高橋泰子教授、中島千里講師 平成21年1月教員審査済 判定可 (21) 助手4名専任教員等配置追加(21) 山田裕子講師平成21年9月退職 濱畑章子教授 平成22年1月教員審査済 判定可 (22) 高橋泰子教授 平成22年3月退職 (22)	
	在宅看護学	3前	2			1	1	0	1	0			
	地域看護学実習Ⅰ（ふれあい）	1前	1			9	5	9	6	7	4		
地域看護学実習Ⅱ（企業）	3後～4前	1			1		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
展開領域	地域看護学実習Ⅲ（在宅）	3後～4前	1			1	1⇒		0	4	岡部充代助教平成20年3月退職 (20) 豊島泰子准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21)
	地域看護学実習Ⅳ（保健所・市町村保健センター）	3後～4前	2				1⇒	1	1	1	
	精神看護学概論	2後	2			1⇒		2⇒			萩典子講師 平成20年8月教員審査済 判定可 (21) 近藤信子教授 平成21年1月教員審査済 判定可 (21) 宮崎徳子教授、大西信行講師 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)
	精神看護学Ⅰ（健康な人への看護）	3前	1			1⇒		2⇒	1		
	精神看護学Ⅱ（入院中の患者の看護）	3前	1					2⇒	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1⇒		2⇒	1	4	
	小計（16科目）	—	25			9⇒	5⇒	8⇒	7	4	
	看護学特別講義	2後		2		1					大西信行講師 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)
	生命倫理論	3前	1								
	人間発達学	1前		1		3					豊島泰子准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21)
	健康教育学	2前		1		1		1			
	リハビリテーション看護論	3前		1							草刈淳子教授 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)
	カウンセリング論	3前		1		1		2⇒			
	コミュニケーション論	3前	1			1		1			豊島泰子准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21)
	家族看護学	2前		1		1	1⇒	1			
	災害看護学	4前		1							草刈淳子教授 平成22年1月教員審査済 判定可 (22)
看護管理学	4後	1			1⇒						
看護教育学	4後		1		1					草刈淳子教授 平成22年2月教員審査済 判定可 (22)	
国際看護論	4後		1		1⇒						
看護研究	3前	1			3⇒					内藤雅子教授 平成21年8月教員審査済 判定可 (22)	
看護研究演習Ⅰ（看護研究クリティーク）	3通年	1			10⇒	5⇒	8				
看護研究演習Ⅱ（卒業研究）	4通年	3			10⇒	5⇒	8			露木敏子教授平成21年3月退職 岩本淳子・豊島泰子准教授 平成20年8月教員審査済 判定可 (21) 高橋泰子・近藤信子教授 浅野妙子准教授、中島千里講師 平成21年1月教員審査済 判定可 (21) 内藤雅子教授 平成21年8月教員審査済 判定可 (22) 山田裕子講師平成21年9月退職 野口多恵子教授、濱畑章子教授 栗原喜代子講師、大西信行講師 平成22年2月教員審査済 判定可 (22) 高橋泰子教授平成21年3月退職 (22)	
小計（15科目）	—	8	10		12⇒	5⇒	9⇒	0	0		
合計（100科目）	—	118	48	14	15⇒	6⇒	9⇒	6⇒	4		
学位又は称号	学位又は学科の分野			保健衛生学関係							
卒業要件及び履修方法				授業期間等							
基礎科目	必修12単位 選択8単位以上			1学年の学期区分			2期				
専門基礎科目	必修26単位			1学期の授業期間			15週				
専門科目	必修80単位 選択2単位以.計 128単位			1時限の授業時間			90分				

助産科目は自由科目であるため卒業要件には入れない

- (注) ・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置認可時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 67	科目 28	科目 5	科目 100	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{100}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(四日市看護医療大学キャンパス)

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	四日市大学と運動場用地は、共用 校舎敷地の一部を四日市大学から看護大に移管したことによる増加。 一部土地売却のために分筆を行った際、実測によって面積が増加したため。	
	校舎敷地	15,468㎡ 12,570㎡	0㎡	35,503㎡ 38,765㎡	50,971㎡ 54,335㎡		
	運動場用地	0㎡	24,000㎡	13,826.88㎡	37,826.88㎡		
	小 計	15,468㎡ 12,570㎡	24,000㎡	49,329.88㎡ 52,591.88㎡	88,797.88㎡ 90,161.88㎡		
	そ の 他	0㎡	0㎡	49,570.1㎡ 48,369㎡	49,570.1㎡ 48,369㎡		
	合 計	15,468㎡ 12,570㎡	24,000㎡	98,899.98㎡ 100,960.88㎡	138,367.98㎡ 137,530.88㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	四日市大学と食堂、 体育館、クラブハウス 共用 四日市大学 9号館を本 学へ移管したことによる増加		
	11236.35㎡ 6,539.59㎡ (11236.35㎡)	4,393.12㎡ (4,393.12㎡)	16,214.28㎡ 26,911.04㎡ (16,214.28㎡)	31,843.75㎡ (31,843.75㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	6室	4室	4室	2室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員4名を新規採用のため(22)	
	看護学部 看護学科		31 27 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	看護学部	8,600 [1,400] (4,200 [700])	100 [20] (50 [10])	3 [2] (3 [2])	47 (47)	2,211 (855)	55 (55)
	計	8,600 [1,400] (4,200 [700])	100 [20] (50 [10])	3 [2] (3 [2])	47 (47)	2,211 (855)	55 (55)
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	886㎡	80席		60,000冊			
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
	2,576㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	37,600千円	12,400千円
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	196,248千円	33,000千円	3,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,790千円	1,590千円	1,590千円	1,590千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部									三重県四日市市萱生町1200 平成20年度募集停止 経済学部 現代ビジネス学科 環境情報学部 社会環境デザイン学科 四日市大学の入学定員については、別紙1
経済学科	4	50		210	学士（経済）	0.72	昭和63年		
経営学科	4	50		200	学士（経営）	1.06	昭和63年		
現代ビジネス学科	4	0		—	学士（経営）	—	平成17年		
環境情報学部									
環境情報学科	4	60		260	学士（環境情報）	0.80	平成9年		
メディアコミュニケーション学科	4	40		160	学士（環境情報）	0.62	平成16年		
社会環境デザイン学科	4	0		—	学士（環境情報）	—	平成18年		
総合政策学部									
総合政策学科	4	70		280	学士（総合政策）	0.99	平成13年		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。